#### 環境編 平成 17 年度「環境報告書」

#### 環境負荷低減の取組

■ 下水道局では、「ISO14001」環境マネジメントシステムを活用し、 良好な放流水質を維持するとともに、事業活動に伴い発生する処理 水や汚泥のリサイクルなどにより、環境負荷の低減に努めています。

(水再生センターを中心とした物質フロー)

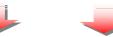
都市ガス 17. 7百万㎡

#### 【エネルギー】 区部下水道事業 流域下水道事業 電力 729百万kWh 159百万kWh 4, 120 kl 3, 300 k



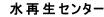


2. 2百万m



#### 【流入下水】水量・水質

	区部下水道事業	流域下水道事業	
水 量	1, 664百万㎡	326百万㎡	
指 標	濃 度	濃 度	
BOD	153 mg/l	165 mg/l	
COD	80 mg/l	114 mg/l	
SS	118 mg/l	172 mg/l	
全窒素	31. 3 mg/l	31. 0 mg/l	
全りん	3. 5 mg/l	3. 8 mg/l	









### 全窒素 14.5 mg/l **54%** 12.1 mg/l **61%** 全りん 1.2 mg/l **66%** 0.8 mg/l **79%**



【処理水】水量・水質及び除去率

1. 664百万㎡

2 mg/l 99%

11 mg/l **86%** 

3 mg/l **97%** 

区部下水道事業 流域下水道事業

326百万㎡

2 mg/l 99%

9 mg/l **92%** 

2 mg/l 99%

#### 【汚泥・焼却灰】

資源化率	57%	100%
埋立量	20, 000 t	0 t
資源化量	26, 320 t	7, 600 t
	区部下水道事業	流域下水道事業

#### 【排出ガス】

	区部下水道事業	流域下水道事業
ばいじん	7. 7 t	1. 5 t
SOx	17. 7 t	11. 0 t
NOX	54. 4 t	37. 4 t

※物質フローでは、水再生センターの下水処理の過程において、 環境に影響を与える物質の年間全体量の収支を明らかにしてい ます。

#### 【処理水の再利用】

有効利用率	8. 9%	9. 9%
トイレ用水など	3. 5百万㎡	0. 02百万㎡
清流復活用水	30. 2百万㎡	9. 1百万㎡
局内利用	114. 0百万㎡	23. 0百万㎡
	区部下水道事業	流域下水道事業

「経営・環境レポート 2006」の本編では、この概要版に掲載した項目を詳しく 説明しているほか、経営改善に向けた取組や事業指標なども掲載しています。 ぜひ、ホームページ(http://www.gesui.metro.tokyo.jp/)をご覧ください。

経営・環境レポート 2006 概要版

編集·発行:東京都下水道局総務部理財課

在 地:〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

話: 03(5320)6527

ホームへ゜ーシ゛: http://www.gesui.metro.tokyo.jp/

平成 1 8 年度 規格表第4類

登録第 109 号

概要版

# 東京都下水道事業 経営・環境レポート2006



▲老朽化した管きょの再構築



▲完成した「あきる野幹線」 (沢を横断する水管橋)





▲完成した「東品川ポンプ所」



▲水再生センターの施設見学会



東京都下水道局

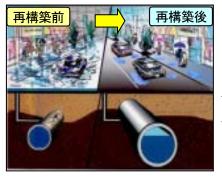
- ■「経営・環境レポート 2006」は、東京都下水道事業の平成 17 年度の実施状況 を分かりやすくお知らせし、お客さまに一層理解していただくとともに、お客さま からご意見・ご要望をいただき、事業に反映させていくことを目的として作成して います。
- ■「経営編」では、「経営計画 2004」の平成 17年度における実施状況を掲載 しています。
- ■「環境編」では、平成 17 年度環境報告書として、環境負荷低減の取組を掲 載しています。

# 「経営計画 2004」の平成 17 年度実施状況

# 老朽化施設の再構築 (安全性の向上)

- 下水道幹線の再構築を 1.5km、枝線管きょの再構築を 312.6ha 実施しました。
- 家庭と管きょをつなぐ取付管の取替工事などを50ha実施し ました。
- 再構築工事の進捗に伴い、道路陥没件数が減少しています。

#### 《管きょの能力不足解消のイメージ図》



# 《再構築の整備面積と陥没件数の推移》

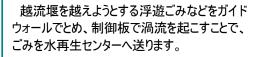


## 合流式下水道の改善(快適性の向上)

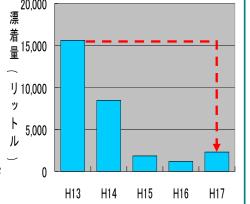
- 新河岸水再生センターなど 4 か所で雨水貯留池を整備したほ か、神田川などで水面制御装置(下図)の設置などの雨水吐 口対策を81か所実施しました。
- ▶ お台場海浜公園へのオイルボール(油の固まり)の漂着量が 減少するなどの効果が現れています。

# 《水面制御装置のイメージ図》





# 《お台場へのオイルホール漂着量の推移》



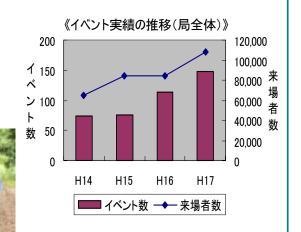
# 地域とのパートナーシップの充実

- 水再生センターでは、「地域に愛され親しまれる」水再生セン ターとなるために、地域の方々との交流を深める取組を進め ました。
- 水再生センターごとの特徴を生かした取組や地域の方々のご 協力により、平成 17 年度の局全体のイベント来場者数は、 10万8千人に達しました。

#### ▼桜と施設見学会





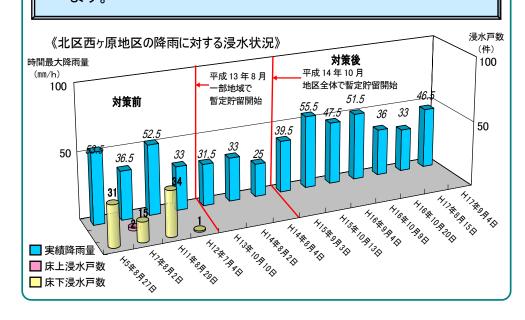






# 浸水対策の推進 (安全性の向上)

- 東品川ポンプ所、江東ポンプ所で雨水ポンプ 5 台を整備した ほか、豪雨時の雨水を一時的に貯める南砂雨水調整池を完成 させました。
- 雨水貯留管などの整備により、浸水被害の発生が減少してい ます。



# 未普及地域の解消 (多摩地域の都民生活と水環境を守る)

- 檜原村の下水の受入に必要な「あきる野幹線」を完成させた ほか、八王子水再生センターなどで水処理施設(高度処理施 設)の整備を進めました。
- 多摩地域の下水道普及率は、平成 17 年度末で 96%となりま した。(区部は平成6年度末に100%普及概成)

# 普及率(%) 《下水道普及率と多摩川の水質(中流域)の推移》 BOD(mg/l) 100 80 60 40 20 S46 S51 S56 S61 H3 H6 H9 H12 H15 H17

### 財政収支

- 経営改善努力として、建設改良コストの縮減等により、区部 下水道では約 180 億円、流域下水道では約 29 億円の経費 を縮減しました。
- 財政収支は、経営改善による経費の縮減などにより、計画に 対して、区部下水道では約66億円、流域下水道では約9億 円の改善となりました。

#### 《財政収支の状況》

3

(単位:億円)

区分	区部下水道		流域下水道	
	計画	決 算	計画	決 算
収 入	5,632	5,453	160	155
支 出	5,667	5,422	156	142
収支差引過不足額	-35	31	4	13

2